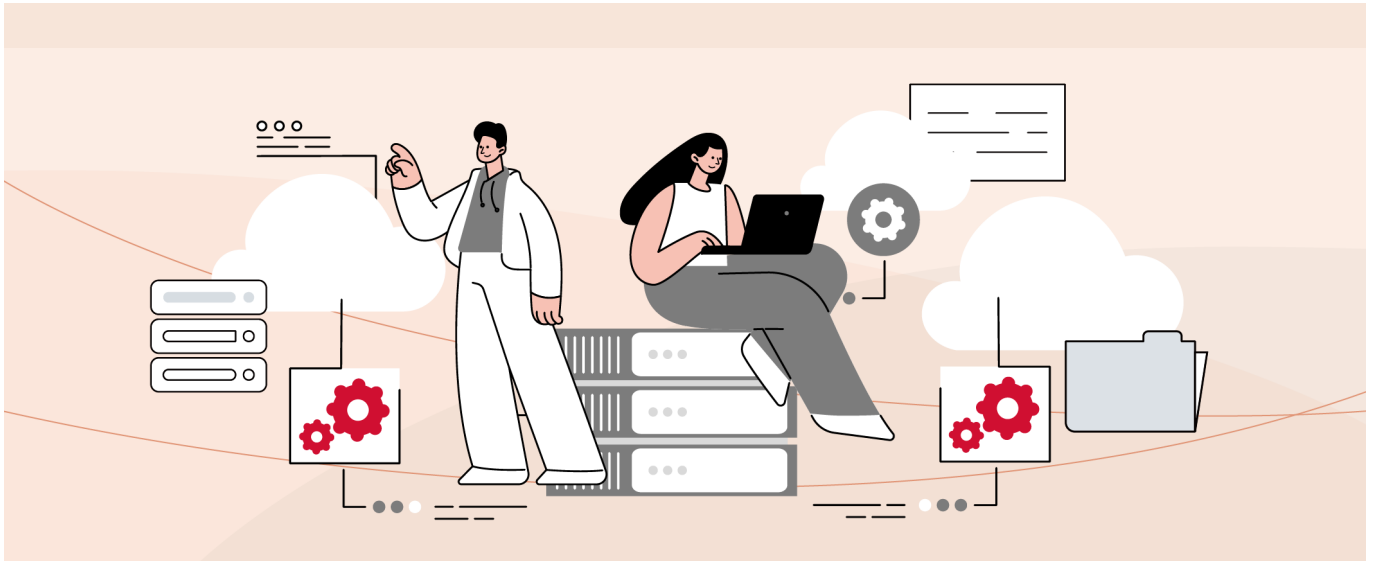




クラウド接続の個別設計を解消し、 マルチクラウド利用を加速するネットワーク基盤

クラウドサービスの利用が拡大する中で、新たなクラウドや外部データセンターへ接続するたびに、回線構成やセキュリティ設計、運用方法を個別に検討する必要があり、導入や拡張に時間やコストがかかっている企業は少なくありません。

特に、複数のクラウドやSaaSを併用するマルチクラウド環境では、接続構成の違いによる運用の複雑化や、通信品質のばらつき、管理負荷の増大といった課題が顕在化しやすくなります。

ここでは、実在の企業をモデルにした想定事例を通じて、マルチクラウド環境におけるネットワーク接続をどのように整理・標準化できるのかをご紹介します。

業 種 ITサービス業

規 模 従業員 約500名

利用環境 複数のクラウドサービス・SaaSを業務で利用

IT体制 インフラ担当者がクラウドとネットワークを兼務

※本事例は実在の企業をモデルにした想定事例です。

課題

クラウド接続のたびに発生する設計・調整・コスト負荷

同社では、新たなクラウドサービスを導入するたびに、接続回線の選定や構成検討、セキュリティ対策を個別に設計していました。

その結果、クラウドサービスを利用開始するまでに時間がかかってしまっていました。また、接続構成がクラウドごとに異なり、運用ルールが統一できず、障害対応や構成変更時の確認・調整工数が増大するといった課題が顕在化していました。

また、Web会議やクラウド経由の業務が増える中で、通信遅延や品質低下が業務効率に影響する場面も増え、ネットワーク全体の見直しが必要な状況となっていました。

クラウドサービス導入都度発生する個別設計対応



解決

docomo business RINK® の インターコネクトによる構成の標準化

そこで当社が採用したのが、**多様なネットワーク接続とセキュリティを統合して提供する NaaS (Network as a Service) である docomo business RINK® のインターコネクト**です。
クラウドや外部データセンターへの接続方式をあらかじめ整理・標準

化することで、新たなクラウドを追加する際も、個別設計を最小限に抑えながら、迅速かつ安定した接続環境を構築できるようになりました。
また、接続構成や運用ポリシーを統一することで、マルチクラウド環境でも一貫した運用・管理を実現しています。

導入後の姿

クラウド利用を止めないネットワーク基盤へ

docomo business RINK® のインターコネクトの導入により、クラウド接続にかかる設計・調整工数は大幅に削減されました。
その結果、新サービスや新クラウドの利用開始を迅速・通信品質の安定による業務効率の向上運用・管理負荷の軽減とコスト最適化を実現。
インフラ担当者は、日々の調整作業に追われることなく、より付加価値の高い業務に注力できるようになりました。

迅速に対応可能なネットワーク基盤

コスト最適化

生産性向上

工数・稼働軽減



管理画面

工数・稼働軽減

導入効果



- クラウド接続における設計・調整工数の削減
- 新サービス立ち上げスピードの向上
- マルチクラウド環境における運用負荷の軽減
- 接続構成の標準化による安定運用とコスト最適化



この事例からわかること

マルチクラウド時代においては、クラウドごとに接続を個別最適化するのではなく、**ネットワーク・セキュリティ・クラウド接続を「一体で設計」していく事が重要**になります。

docomo business RINK® のインターコネクトは、クラウドや SaaS の利用拡大を止めることなく、柔軟で安定したネットワーク基盤を提供します。

docomo business RINK® に関するお問い合わせ

NTTドコモビジネス株式会社

NTTドコモビジネスコンタクトセンター(法人のお客さまからのお問い合わせ窓口)



0120-003300

受付時間 9:00~17:00

※携帯電話からもご利用になれます。土・日・祝日・年末年始は休業とさせていただきます。

サイト www.ntt.com/business/services/rink.html

- 記載内容は2026年7月現在のものです。
- 表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。
- 複数の商品・サービスを利用される場合にはお手元で計算された額と実際の請求書が異なる場合があります。
- フリーダイヤルのサービス名称とロゴマーク  はNTTドコモビジネスの登録商標です。
- 記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。